

厚生労働省・保険局との交渉

-8年度所得調査について 「来年度の補助金に影響する

とを思い出した。要請は正に り、意見交換をする中で一生 とうした場で時にはぶつか 話を交え、「試合を現地観戦 国と皆さんとの『スクラム』。 したハーフタイムに要請のこ らも、「必要性を強調してい る」。裁量的経費については 改めて感じた」と語りました。 思っていたが、実は私たちを 連の要望を後押しするものと 制度を良くしていくことに繋 懸命押し合うことが医療保険 れる可能性がある」としなが され、概ね固まると考えてい けては「医療保険部会で『診 後押ししてくれているものと がる。また、ハガキは全建総 前年比9割で概算要求してい 療報酬改定の基本方針』が示 ない項目については切り込ま 「財政当局の対応は厳しい。 2020年度予算編成に向

確保に努力 必要な予算 きたい」と答えました。

仲間からは、未公表の20

も影響する。年末の予算編成 訴えがされ、 るのに減額されるのは問題。 通知の中に盛り込むかも含め は早めに示して欲しい」との 施率が70%以上に到達してい 定健診等補助金では「健診実 て検討していきたい」。 厳しい減額措置となった特 「保険料設定に

単価と総額を満額確保し、減 管する医療費適正化対策推進 ほしい」との求めがあり、「所 額措置が必要ないようにして

大きな話。算定に必要な係数 いきたい」。

頃から何度タックルを受けて 手を送り、終了しました。 力していきたい」との決意が 要な予算を確保できるよう努 末まではまだ時間はある。必 求めがあり、森山補佐は「年 い。受け止めて欲しい」との は一人一人の闘いで切実な願 も立ち上がってきた。ハガキ 表明され、参加者は激励の拍 最後に松尾社保対部長から 「われわれは日雇健保の

付かせて、重層構造を改める と示しました。CCUSを根 情をふまえ、その対応が課題 で、次数が重なるほど減る実 度ではある に関して は、民間制 CCUS ど、CCUSの推進は省をあ げてのものであることを示し 協力し進めたい」と述べるな 者への周知では「全建総連と 側は「適正工期の基準を検討 期設定が改まるよう要請。省 三法の改正をうけ、無理な工 ました。 参加者からは、新・担い手

・建設産業局との交渉

との交渉 設産業局

には、谷

が事故なく作業を進め、間も 各地から支援に入った組合員 仮設木造住宅について報告。

し、同時にCCUSの技能評 き上げの方向と見込みを示 述べました。来年度も単価引 の引き上げに効果がある」と 価について省側は「現場賃金

ことも重要と述べました。

土地·建

加者から、建設を終えた応急

冒頭に長野県建設労連の参

国交省

両副委員 内·松丸

べるとともに、災 なく引き渡しと述

CUSを推進

設計労務単価アップへ

国土交通省

條室長な

注力していくと決意を示しま

手不足を解消するCCUSに

価との結びつきも大切としま

テム開発に国費を投入するな

もののシス

法定福利費に関しては、

独

省側は藤

ど6人が

対応しま

する返答として、設計労務単

との回答が増えている一方 自調査の結果で「払っている」

て「重要な対応」、一般消費 校などで広報することについ 認識を示しました。制度を高 ど「事実上の公的制度」との

がありました。

力人としていた技能者登

全建総連側からの要請に対

認識し、今後は人

12人が参 長など計

が果たす役割を再

時に地元工務店

国交省• 建 産 局

環境省



スベスト飛散防止総合対策費

を7248万円から2億21

玉の仲間からは「石綿含有P

の整備をするため、飛散防止

えがあり終了しました。 防対策を強めてほしい」と訴

その後の意見交換では、埼

体に周知している」と回答。

の総務省勧告を受けて各自治

綿対策費を増額

露防止策を強めよ 請には、鈴 木副委員長

が参加、保険局からは森山国 保課長補佐ら3人が対応しま

中西副委員長を団長に42人

保険局

要請は国と組合のスクラム

環境省要

を団長に9人、環境省からは

佐ら担当官4人が対応しまし 水・大気環境局の秋山課長補

等や環境保全経費等の必要な 策費を含む大気汚染防止対策

め、自分の所で保管し、対応った。処理してもらえないた

申を求めてパブコメを求めて 改正で、中央環境審議会で答 予算要求している。大防法の

いる。今後、石綿則と大防法、

棄物処理を業者が受付なくな

タイルや屋根スレート材の廃

総合対策費を大幅に増額して

アスベスト飛散防止総合対

予算を確保などアスベスト対

策に関する5つの要望で交渉

しました。環境省からは「ア

間からは「災害時、アスベス

ト含有建材が含まれている廃

と厚労省としっかりと連携を

な共通部分について、国交省 アスベスト関連に関わるよう

とって対策を努めていきた

と現状報告があり、千葉の仲

に苦慮。何とかしてほしい」

ガキは局も後押

れ森山補佐はラグビーW杯の

ハガキ要請の感想を求めら

環境省との交渉

査と指導強化は平成28年5月

1万円に増額要求。事前調

ア活動をするのは危険。周知 材だと知らずに、ボランティ

い」との話がありました。

と適切な対応を」と報告と要

望がありました。

環境省からは、「事前調査

要な予算をつけて、ばく露予

体工事の事前調査のための必

田久労対部長からは、「解

の電子届出等のシステム

室と共に予算の確保に努めて

レベル2、3

に対して

したい

ました。

い」とあいさつが

ーザーとなる一般市民へCC

その他、「町場のエンドユ

テムと認識。下請から請求す 中」と返答しました。CCU る運動をしてほしい」と回答 は「価格交渉力をつけるシス Sと処遇改善の連動について 意見交換を行ないました。 助成金の必要額確保を中心 援拡充など4本の要請項目 遇改善を図った事業主への支 ました。建設事業主に対する で、関連する施策等について は、竹内室長ら4人が対応し い手確保、処遇改善、安全衛 安定局建設・港湾対策室から に、能力評価制度を活用し処 冒頭、竹内室長からは「扣

長を団長に11人が参加。 職業安定局班は松本副委員

厚労省· 職 安 局

みを進めていきた 処遇改善の取り組 待をしている。全 め、全建総連の果 改革を進めるた 業における働き方 生の確保など建設 がら、雇用改善・ 体と意見交換しな 建総連はじめ各団 たす役割に一層期

の継続では、「来年度に限り では、 増額措置を継続するよう概算 り方も含めて支給要領の改訂 ては、 目指していく。来年度に向け 技能者登録に対する増額措置 を検討している」としました。 賃 している。当初初年度1 金助成におけるCCUS 、「概算要求の満額確保を 設事業主に対する助成金 講師謝金上限設定のあ

> 録の進捗状況なども鑑みて再 来年度以降の措置を検討した い」と回答がありました。 能力評価制度を活用した処

きわめてレベル2、3に対す た場合に助成するよう、対象 理制度助成コースでは、レベ 後の能力評価制度の進捗を見 を広げ、支給要件を緩和する たい」としました。 る処遇改善への助成を検討し ことで拡充を図っていく」「今 つ5万円以上賃金を引き上げ 遇改善に対しては、「雇用管 4相当の者を年2%以上か

えました。 **\$**

詰将棋の解答

金の周知を」などの要望を訴

に広がるように事業主へ助成 USの周知を」「活用がさら

二香成△1一玉▲2二成香ま Ⅰ一玉■2一銀成△同玉■3 ■3二歩成□1一玉■2一と □同玉■3二銀不成□1一玉 1二桂成△同玉■2三金△